

2019年度 国際社会貢献センター(ABIC)事業計画

活動分野	主要事業	重点活動内容	18年度実績 (延べ人数)	19年度目標 (延べ人数)
政府機関関連	ODA関連の人材紹介、政府機関諸事業の受託人材育成セミナー等への講師派遣	・海外での活動: JICA「海外専門家」「シニア海外ボランティア」、国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業」「日米交流ファシリテーター」「日本語教育サポーター」、内閣府「対米広報短期派遣事業」、在ロシア日本センター研修事業等への人材紹介・推薦。	82	90
		・国内での活動: JETRO「中小企業海外進出支援嘱託職員、貿易相談員」「新輸出大国コンソーシアム事業」、中小企業基盤整備機構「中小企業支援事業アドバイザー」、海外産業人材育成協会(AOTS)での研修講師等の人材紹介・推薦。		
		・内閣府、経済産業省、外務省、文部科学省、農林水産省、観光庁、国際協力基金、JETRO、JICA、AOTS等と関係機関とのコンタクト維持・強化。		
NGO / NPO等 非政府機関	NGO等への人材紹介、活動への協力	・NGO、NPOの関係機関などへのABIC活動の理解・促進に努める。	6	10
		・NPO、NGO主催のイベントへのボランティア人材紹介。		
地方自治体・ 中小企業支援	地方自治体の国際化・中小企業の販売促進活動・海外進出・経営支援・協力 中小企業への直接支援	・年間業務委託契約締結先の地方自治体(和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/やまぐち産業振興財団、高知県/移住促進・人材確保センター、鳥取県/産業振興機構、石川県、福井県、宮崎県など)との関係強化。新規地方自治体との業務委託契約の獲得。	994	1000
		・現協力先の自治体(大阪府・東大阪市共同のクリエイションコア、大阪国際経済振興センター、神戸市産業振興財団、神戸市商工会議所、滋賀県/産業支援プラザ、福島県、茨城県、岐阜県、埼玉県等)との関係維持。新規自治体に対してABIC活動の理解・促進に努める。		
		・商工会議所や中小企業からの直接支援要請への即応。		
外国企業支援	外国企業の日本進出・販路開拓支援および海外赴任者研修等	・国際見本市や海外からの各種ミッション、在日大使館、来日外国企業の商談等への協力。外国機関駐日オフィスとのコンタクト維持・強化。	180	200
		・在日外国企業との連携強化。海外赴任者研修講師派遣(含、日本貿易会との協働)。		
教育	大学および 社会人講座	・実施大学・組織およびコマ数の維持を図りつつ、講師陣の拡充を図る。新規大学・新規講師の発掘に積極的に努める。	278	230
		・提案型講座の拡大。 ・2006年1月に包括協定締結の立命館APUとの関係維持。 ・2003年12月に連携協力協定締結の関西学院大学との各種協力関係の維持・拡大(講座維持、国際理解教育協力等)。 ・グローバル人材育成推進大学へのアプローチ(東洋英和女学院大学、近畿大学、摂南大学、筑波大学、関西学院大学、亜細亜大学など)。		
国際理解 教育支援等	小中高校への講師派遣 在日外国人児童への日本語指導等	・小中高校での講義・講演先の開拓。文部科学省、自治体教育委員会との連携強化。	215	250
		・オリンピック・パラリンピックを見据えた国際理解教育の取り組み強化。 ・新宿区や多摩地区の小中学校における外国人児童・生徒(外国にルーツを持つ児童・生徒向け)への日本語指導を通じた支援。		
在日留学生支援	在日留学生支援	・東京国際交流館、兵庫国際交流会館における日本語広場(日本語教室)、日本文化教室への講師派遣。バザー、フェスティバル等の催事への協力。	654	650
		・東京国際交流館在住の留学生家族支援ボランティア(妊娠、出産、通院、育児、健康管理、入園・就学等)活動の充実。		
国際イベント等	イベント等への協力	・オリンピック・パラリンピック東京大会など各種イベントとの関係模索。	0	10
その他活動・ 一般人材紹介等	その他活動・一般人材紹介	・法人会員各社の社会貢献活動への支援・協力。	196	200
		・三井物産「在日ブラジル人子女教育支援」プロジェクトへの新たな取り組み実行。		
		・大学、専門学校等の教授・講師、NPO、NGO官公庁の機関を主体とした人材の紹介。民間企業への人材紹介発掘。		
		・ABIC日本語教師養成講座教師に加え、社会貢献に資する求人への積極的対応。		
合計			2,605	2,640

活動会員関係	活動会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> ・日本貿易会 社会貢献・ABIC委員会、運営委員会など各委員会での報告を通じた活動理解 およびホームページ等でのABICの認知度を高める。 ・現活動会員の知己勧誘を実施。
	活動会員スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・2006年10月より続けている日本語教師養成講座の継続実施。 ・大学等講座講師勉強会(含、英語授業法)の実施。 ・個別の勉強会実施。
	懇親会	<ul style="list-style-type: none"> ・東京・大阪での開催。
法人会員関係	法人会員勧誘	<ul style="list-style-type: none"> ・法人会員獲得に注力。

広報活動		<ul style="list-style-type: none"> ・会員、関係先向けの「ABIC Information Letter」発行(年3回 4/7/12月)。ホームページの更新。
		<ul style="list-style-type: none"> ・日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』で「ABIC PLAZA」(毎号)、「ABIC虎の巻」(5回連載)の掲載。JFTC News(英文)でABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載。
		<ul style="list-style-type: none"> ・20周年記念シンポジウムの企画・開催。20年史の発行準備。 ・JFTC特別研究会「SDGsの実現に向けた商社の取り組み」への参画(寄稿)等
		<ul style="list-style-type: none"> ・東京国際交流館・兵庫国際交流会館が主催する春・秋のバザーへの協力。「ウェルカムパーティー」「交流館フェスティバル」などでABICのPRや活動を紹介。
		<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業委員会」、一般財団法人放送番組国際交流センター「番組評価委員会」などでのABICのステータス構築。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞、TV、ラジオ、雑誌等のメディアへの働きかけ。
事務局関係	事務局体制	<ul style="list-style-type: none"> ・活動方針のベクトル合わせおよびコーディネーター相互の情報交換促進のためグループ別定例会議の開催。 ・法改正を含むスキルアップのための研修を実施。
		<ul style="list-style-type: none"> ・関係先や会員に使いやすい至便さ、職員・コーディネーターに快適な事務環境を求め、日本貿易会とともに東京事務所の移転先を検討。 ・東京本部と関西デスクの連携強化を通じた活動活性化。中部地区での活動拠点新設の模索。
	事務局運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンディング(寄付者開拓)の検討。 各種データの整理等、業務改善・効率化への注力。 ・諸契約、規則・規程の整備・充実。